

平成 29 年 6 月 30 日

稲沢市長 加藤 錠 司 郎 様

稲沢市総合計画審議会

会長

第 6 次稲沢市総合計画について（答申）

平成 28 年 8 月 26 日付け 28 稲企第 52 号で諮問のありました第 6 次稲沢市総合計画（案）（基本構想・基本計画）について、慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、計画の推進にあたっては、本答申及び審議過程で各委員から出された意見を十分に尊重し、下記の点に留意されるよう要望します。

記

- 1 今後 10 年間のまちづくりのコンセプトとして掲げる「名古屋圏における本市の存在感向上」に基づき施策を展開し、「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」及び「名古屋で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」の実現に努めること。
- 2 人口減少や高齢化の進展といった社会構造の大きな転換期の中、常に都市間競争を意識するとともに、社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に捉えながら、計画の着実な実施に努めること。
- 3 行政情報の公開や提供を積極的に行い、市民との情報共有を図りながら、協働によるまちづくりの推進に努めること。
- 4 計画の推進においては、関連事業の選択と集中により費用対効果を最大限に高めるよう努めること。また、厳しい財政状況の中、さらなる行財政改革に努めるとともに、財源の確保に努めること。